		. 1																
ナ	ンバリ		授業科目名(科目の英文名) 体育実技 (体つくり・陸上競技)							区分・【新主題】/(分	授美	受業形式						
	E112K00		f美技 (体づくり・陸上競技) ysical Education Practice)								X	寸面						
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言	語	-	その他に使用する言語			担当	形態				
必修				教育学部														
		1	2	令和2年度		水1	日本語			英語	複	数(封	:同).	<i>オ!</i>	<u>'</u>	バス		
				以降入学生用						,	複数(共同)			,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
40	丘夕 :	_ エネエ チハ활																
担当	ιсп .	。 玉江 和義、谷口 勇一																
教																		
	E-mail	玉江(k-tamae@oita	mae@oita-u.ac.jp) 谷口(tyuichi@oita-u.ac.jp) 内線 玉江(7624) 谷口(7628)														
授	· 「体	つくり運動	運動」領域の目的と内容を理解し、その指導方法を身につける(体つくり)															
業	・陸上	競技(短距	(短距離走、リレー走、ハードル走、走高跳、砲丸投、長距離走)の技能を理解し、指導方法を身につける(陸上競技)															
の概																		
版 要																		
												7						
目標1 「体力を高める運動」と「体ほぐしの運動」を通して、「体つくり運動」の領域特性とその目的を理解できる																		
目	目標2 陸上競技の各種目に求められる基本的な動きや効率の良い動きを発展させることができる									_			_					
	漂3										Ш	-	_	_	_			
	票4										-		_	-	_			
_ 目;																		
目;											\vdash		_	\dashv	\dashv			
日;														_				
目																		
	票10										i			\exists				
						各DPへの関連	度(計10)				2	2	1	1	2	2		
授業	の内容														·	,		
1	オリエン	ノテーショ	ン(本授業の	展開について、	体つくり	運動の現状)	(担当:玉江和義)											
2	「体力を	本力を高める運動」の実践(1) (担当:玉江和義)																
		を高める運動」の実践(2) (担当:玉江和義)																
		具を用いて動く(ボール) (担当:玉江和義)																
			<u>(純) (担</u> する (担当	<u>]当:玉江和義)</u> ・エエ和義)														
			<u>.9 5 (担当</u> 担当:玉江和															
				·・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	開につい	て) (担当	: 谷口勇一)											
				:修得 (担当:			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,											
10	リレーネ	きの技術理	解と修得 (担当:谷口勇一	.)													
11	ハードル	レ走の技術	i理解と修得 (1) (担当: 征	3口勇一)												
				2) (担当:	3口勇一)												
				<u>1当:谷口勇一)</u>								—		—				
				<u>!当:谷口勇一)</u> 担当:谷口勇一	.)													
	A #F	識の定着	1			プワークを宝施	 動し、理解を深める。適	官. 端末	適	 [宜、発問-応答などによる相互	発展	 的な!	授業:		色し.	デ	カが	
ラ : -	B·章	見の表現		などを利用し、そ					エそば	業グループ間、およびグループ	プを起	ミえた	.仲間	間で	のPe	er	, 5	
ニ゠	C. 15	用志向							他 Te	eachingなどに発展するように言	E体的	」な学	習を	:促す	•			
グ	ブ D:知	識の活用	・創造						の									
			授業	以外の時間にお	いて、自	らの心身の運	動を主体的に行なうこと	とを通して	の、実践	浅的な感覚づくりや理論的気づ	きを	足す((15h)					
		準備:	学修															
授業	時間外																	
	の内容	授業において学習した内容論と方法論を実践し、その記録化を通しての継続を奨励する(30h)。																
と想定時間 事後学修 事後学修																		
			間合計 45	7.14公常 	4++/rb -	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		/エンタルリー -	- 									
敖	科書	付になしる	こするが、字首	省指導要領(中 年	≧仪編・高	詩字校編)の)内容を踏まえ、適宜関係	係資料を削	こかする	•								
3)	11TE																	
		特になし	(適宜、担当教	数員より授業資料	4を配布す	る)												

参考書

績評	評価方法	去	割合	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標 10		
	前半試験	● (各授業での小テストも含む)	50%	'			-		- 0	,	0		10		
		使(各授業での小テストも含む)	50%												
及															
び															
評価															
割															
合															
注意事項		理由なき遅刻や欠席は厳禁とする。 授業における準備(授業前の検温や体調管理、必要に応じてのマスク着用、資料集などの用剤 装をし、筆記用具などは常に用意すること。	意、など)を万	全にし	て受講	された	:61° ±	と の上 ⁻	で、授	業内容	に適し	た服		
備考															
-,	Jンク	URL													
実務	当教員の 8経験の 有無														
教員の実務															